

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
571	571	予防接種業務経費	01	01	一般会計
			04	04	衛生費
基本施策	14	感染症などの流行、拡大を防ぎ、食の安全を確保する	01	01	保健衛生費
			02	02	感染症予防費
担当部課名	島ヶ原支所 健康福祉課		101	101	感染症予防経費
作成者氏名	脇坂 長充	連絡先	0595-59-2163	02	予防接種業務経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)			
定期予防接種対象者及び保護者 65歳以上住民(インフルエンザ) 未就学児(乳幼児インフルエンザ予防接種費用助成)		疾患の重症化が防止されるとともに感染症の蔓延が防止される			
本年度事業内容	○予防接種について説明啓発を、乳幼児相談、健診、訪問等の機会に行った ○未就学児のインフルエンザ予防接種費用について、申請した保護者に対し助成を行った				
開始年度	平成 16 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等	予防接種法

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.07	0.07	0.07
人件費合計(A)	504	504	504
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	159	138	138
需用費	3	3	3
負担金、補助及び交付金	156	135	135
その他			
合計(A+B)	663	642	642
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	663	642	642
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
乳幼児インフルエンザ予防接種費用助成を受けた児	人	63	45	45			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
1歳6ヶ月児健康診査時点での麻しん予防接種率	対象児がどの程度接種を受けたかで保護者の感染予防意識の高さを判断する	%	90 目標 ()	100	100
乳幼児インフルエンザ予防接種費用助成を申請した保護者に対する助成率	子どもの感染予防や健康について行動した保護者の希望にどの程度応じることができたかを判断する	%	100 目標 ()	100	100

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

1歳までの予防接種については、親も気にかけて接種しているがそれ以降は忘れてしまうことも多い。健診などの機会をみて周知につとめているが、接種もれの子ほど健診などにも未来所のことが多い。 また、予防接種法も改正されることもありその周知にも努める必要がある。

評価	必要性	4	事業の執行方法等の変更を行なう。 法律に基づいた事業であり、助成制度により保護者の負担軽減が図られている。助成事務を本庁で一括して実施すればさらに効率よくなる。	総合評価 A
	有効性	4		
	達成度	4		
	効率性	3		